

生活の中の ライフストーリーワーク



2023年9月15日(金)

PM13:30～16:30 オンライン ※13:15～開場

講師: **徳永祥子** (立命館大学准教授): 日本財団研究員。大阪市阿武山学園、国立武蔵野学院にて児童自立専門員として勤務後、2016年より現職。福祉社会学博士。

定員: 30名 ※定員達し次第応募締切

(定員に満たない場合は開催を見合わせる可能性があります)

参加費: 8,000円

右のQRコード、もしくは以下URLからお申し込みください。

bit.ly/0915snLSW



— 対象 —

社会的養護の関係者、またはライフストーリーワークに関心がある方。

【お問い合わせ】メールにてお問い合わせ下さい

Mail: info@muyuju.org



「生活の中のライフストーリーワーク」の重要性

ライフストーリーワーク(LSW)と聞くと、まず机を挟んだ対面型をイメージされるかもしれませんが。しかし、LSWは、まず日常生活の中で行われることがベースとなります。日常生活の中でのLSWなく突然、対面型のLSWを実施すると、子どもは戸惑ってしまったり、十分にワークできなかつたり、何事もないようにただセッションが進む、時には拒否、ということにもなりかねません。大切なことだからこそ、急に対面で行うのではなく、日常生活の中で少しずつ丁寧に、子どもたちと実施する必要があるのです。

日常の会話や、出来事、やり取りや面会の中に、たくさんLSWの要素は散らばめられています。では、生活の中で何に気を付け、どのようなことを行い、どのようにLSW取り組んでいくのか。このセミナーでは、そういった日常生活におけるLSWについて学び、皆さんと実践を共有していくセミナーとなります。

ライフストーリーワークとは

ライフストーリーワークとは、施設や里親宅に暮らす子どもが信頼できる大人と一緒に、自身のこれまでの生き立ちを振り返ることで、自身の人生の物語を作ることができ、不安だったり疑問だったりしたことが、すっと子どもの心に落ち、今の生活に納得でき、未来の人生を考えることができるようになるための手法です。広義には、日常生活の中におけるライフストーリー的視点からの関わりや、ライフストーリーブックを使ったワーク、治療的なワークまで幅広い実践を指します。

当日のスケジュール

13:15	受付開始
13:30～ 16:30	1.ライフストーリーワークとは 2.生活の中のLSWはなぜ必要なのか 3.生活の中のLSWの実際 グループワーク 4.LSWの実施上の配慮・工夫点。 5.質疑応答
終了	